

人権作品を見て、心が揺さぶられました

久々に心に電流がビリビリと流れました。というのも、太宰府市教育委員会から令和3年度版「私たちの手でしあわせをひとつに」【第62集人権作品集】が送られてきたからです。さっそく太宰府西中学校の生徒の作品を探しました。そうしたところ、人権ポスター、人権作文、人権標語にそれぞれ心のこもった作品が掲示されました。それらの作品を見ると、子ども達の優しさや差別を許さない気持ちが伝わってきます。後日、生徒配付分が送られてきます。ぜひ、ご家庭でもご覧いただきたいと思います。

以下に入賞作品を紹介します。

☆ 人権ポスター（いずれも2年生です）



☆ 人権作文（1年生）

「私にできること」

コロナ禍で、一部の心ない人による差別や偏見がある中、自分は「人に優しく接していこう、思いやりをもって行動しよう」という決意を表したとても素敵な作文です。

☆ 人権標語（いずれも2年生）

その投稿 面と向かって 言えますか

あなたにとっては言“葉”でも 私にとっては言“刀”なの

私たちの日常のちょっとした言葉で、その気はなくても相手を傷つけてしまうことがあります。改めて、私自身も日頃の言動に気をつけようと思いました。